

カリブラコアの4月下旬出荷作型における品種特性および露地観賞性評価

大槻優華・山口拓斗  
(園芸技術科)

---

【要約】カリブラコアの4月下旬出荷作型では、「サンバ イエロー」「シャルウィダンス イエローインプ」「チャチャ フクシア」の3品種が出荷時および露地定植後の生育や観賞性に優れ、同作型の栽培品種として有望である。

---

【目的】

カリブラコアは小輪多花で耐暑性に優れ、夏花壇の品目として人気が高まっている。本課題では4月下旬出荷の作型における出荷時及び露地定植後の品種特性について調査し、同作型における有望品種を明らかにする。

【方法】

18品種(表1)を供試した。2025年2月28日および3月3日に200穴プラグ苗を3.5号黒ポリポットへ鉢上げした。3月14日(定植2週間後)に地際から高さ2cmで摘芯を行った。加温は3月11日までを10℃、4月18日までを5℃、4月28日までを10℃で行った。4月4日までは摘蕾を行い、4月8日以降に開花調査を開始した。4月28日に1区5株(2反復)について出荷時の調査を行い、終了後に露地定植を行った。基肥はaあたり、成分量でN=1.5kg, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>=1.35kg, K<sub>2</sub>O=1.45kg, 条間および株間は20cmとし、1区4株(2区制)で定植した。自然条件下で栽培し、11月5日に露地観賞性の評価を行った。

【成果の概要】

1. 出荷時評価：開花は4月8日から始まり、いずれの品種も4月26日までに80%開花を達成した(表1)。株高は8.3~14.2cm, 株張は19.9~35.9cmで、株張はほとんどの品種で30cm前後であったが、「サンバ イエロー」は19.9cmと特に小型の草姿であった。開花数は「チャチャ フクシア」が37.1個と最も多く、花径は「ウノ Bakari, シャルウィダンス イエローインプ」が4.0cmと最も大きかった。最大側枝長は10.9~20.6cm, 分枝数は株あたり6.7~13.8本で、「ローゼズ ホワイト」等で分枝性が優れた。
2. 露地定植後の特性評価：株は露地栽培の環境下で調査時まで概ね健全に生育した。調査時の株サイズは株高52.8~114.3cm, 株重85.0~1062.3gで、出荷時調査と同じく品種間差が見られた。開花は、定植から約1ヵ月でいずれの品種もほぼ植栽全面に開花が見られ(図1, 多と同様の状態)、以降その状態が7月下旬まで継続したが、8月以降に猛暑の影響によりいずれの品種も開花が止まり、9月までにほとんど開花がない状態となった(データなし)。10月上旬ごろから一部品種で開花が再開し、調査時点での開花程度は品種間差が見られた。露地評価における開花程度、健全株率、枝枯れ程度が並以上に良好な品種は6品種あり、そのうち出荷時の評価も高い「サンバ イエロー」など3品種は、同作型の栽培品種として有望と判断された。

【残された課題・成果の活用・留意点】

本試験は摘芯1回の管理における、単年度の成果であることに留意する。

表1 品種および発芽率と出荷時の特性評価

No.	品種名	種苗会社 <sup>a</sup>	花色	開花日		出荷時調査 <sup>b</sup>						
				開花開始	80%開花	株高 (cm)	株張 (cm)	開花数 (個/株)	花径 <sup>c</sup> (cm)	最大側枝長 (cm)	分枝数 (本)	評価 <sup>d</sup> (等級)
1	ウノダブルサクラ	タ	桃	4/23	4/26	13.9	34.3	9.2	2.9	19.4	11.7	
2	ウノダブルレッド	タ	赤	4/20	4/22	10.5	34.9	11.0	3.6	20.0	7.4	
3	ウノBakari	タ	赤/橙/黄	4/18	4/21	12.2	27.7	9.3	4.0	15.1	8.6	II
4	カリーダブル オレンジレッド	F	橙	4/14	4/18	9.4	32.2	12.0	3.4	17.8	7.1	
5	カリーダブル パステルピンク	F	桃	4/15	4/19	11.4	32.6	22.4	3.2	17.4	10.9	III
6	カリーダブル モザイクイエローピンク	F	黄/桃	4/12	4/18	10.5	32.9	21.5	3.6	18.4	7.4	
7	カリーダブル ライトイエロー	F	黄	4/14	4/17	9.0	29.8	17.3	3.0	17.6	10.3	
8	カリーダブル レッド	F	赤	4/14	4/21	8.3	32.9	8.6	3.8	17.2	8.8	
9	カリー ディープオレンジ	F	橙	4/14	4/16	14.2	35.9	14.0	3.6	20.6	7.8	
10	カリー ホットピンク	F	濃桃	4/17	4/21	10.1	28.4	10.4	3.5	17.1	8.5	
11	カリー ライトピンクウィズアイ	F	桃	4/14	4/19	9.8	28.2	12.2	3.8	16.8	6.7	
12	サンバ イエロー	ミ	黄色	4/8	4/21	8.1	19.9	23.0	2.9	10.9	11.4	II
13	シャルウィダンス イエローインプ	ミ	黄色	4/13	4/21	10.6	30.3	13.2	4.0	17.6	8.9	III
14	チャチャ フクシア	ミ	黄目ローズ	4/13	4/17	12.9	33.3	37.1	3.4	18.7	12.3	I
15	チャチャ レッドキス	ミ	黒目赤	4/21	4/22	11.9	30.6	22.1	3.5	16.4	13.5	III
16	ネオファンシーピンク	タ	白~桃	4/11	4/20	9.0	28.2	13.9	3.3	15.2	9.7	
17	ロージーズ ブルー	ミ	青	4/18	4/22	11.9	27.1	11.9	3.5	15.2	10.1	
18	ロージーズ ホワイト	ミ	白	4/21	4/22	9.0	31.0	13.2	3.4	16.8	13.8	

脚注) 定植用土は、赤土：腐葉土：牛糞堆肥 = 5 : 4 : 1 (体積比) の混合用土を用い、基肥は用土1000当たり、被覆複合肥料12-10-11 (マイクロロングトータル 100タイプ) = 300g, 化成肥料6-40-6 (マグアンプK中粒) = 200g, 過リン酸石灰0-17-0 = 250g (用土1000当たり成分量でN=48g, P2O5=152g, K2O=45g) とした。表中の数値は平均値。

a) 種苗会社 タ:タキイ種苗(株), ミ:(株)ミヨシグループ, F:FSブルーム(株) b) 揃いの指標として、標準偏差が相対的に小さい値を下線で示した。基準は全体における上位1/3を目安として設定した基準値より標準偏差が小さい値とした (基準 株高:1.0<, 株張2.0<, 開花数:3.0<, 花径:0.3<, 最大側枝長:1.3<, 分枝数:1.5) c) 株の中で最も花径が大きい花弁1個を計測 d) 第68回東京都野菜・花き種苗改善審査会カリブラコアの部 審査結果 (2025年4月28日実施)

表2 露地定植後の生育および観賞性評価

No.	株高 (cm)	株重 (g/株)	開花程度 <sup>a</sup>	健全株率 <sup>b</sup> (%)	枝枯れ程度 <sup>c</sup>	評価 <sup>d</sup>
1	92.0	548.8	1.0	88	2.0	
2	65.3	126.5	2.0	88	1.5	
3	67.3	165.3	4.0	63	3.0	
4	71.3	326.8	3.0	100	1.0	
5	65.0	386.3	2.5	50	2.5	
6	69.3	335.0	3.5	88	3.5	
7	79.5	505.5	3.0	100	1.5	
8	79.0	293.6	3.5	75	1.5	
9	104.8	905.3	4.0	88	4.0	
10	114.3	1062.3	5.0	100	1.5	
11	62.5	325.8	4.5	88	2.0	
12	65.3	116.8	3.5	100	2.5	○
13	53.0	332.0	4.0	88	2.5	○
14	71.3	357.3	4.5	100	1.0	○
15	52.8	128.3	4.5	13	4.5	
16	59.5	85.0	4.0	0	1.0	
17	77.0	585.0	2.5	100	1.5	
18	81.8	594.3	1.0	100	2.5	

a) 調査日 (2025年11月5日) 時点の開花程度を外観から観察し、1 (少) ~ 5 (多) の5段階で評価した。値は2区の平均。評価が3 (並) 以下をグレーで示した b) 株重100g以上を健全株として全株数に対する割合を算出した。健全株率が80%未満のものをグレーで示した c) 品種全体の枝枯れの発生程度を外観から観察し、1 (少) ~ 5 (多) の5段階で評価した。値は2区の平均。評価が3 (並) 以上のものをグレーで示した d) 表1の出荷時評価および露地定植後の生育を総合的に評価し、優れた品種を○とした



図1 開花程度

上:5 (多), 中:3 (並), 下:1 (少)